

石破打倒、中国侵略戦争阻止

11.3 日比谷 6000 人結集で帝国主義倒そう

・戦争翼賛の総選挙、日米軍事演習許すな！

10月9日、石破が衆議院を解散し、15日公示—27日投開票で総選挙が行われることとなった。石破は裏金議員の自民党公認立候補を認めていたが、世論の怒りの爆発により萩生田光一や西村康稔ら12人の非公認を決めた。しかし、石破はこれらの議員の当選後の追加公認もあると明言している。非公認の目的は「自民党刷新」の演出でしかないということだ。しかし、石破も安倍、岸田につづき、改憲・戦争に突き進んでいることは何ら変わらない。

4日の石破の所信表明演説では対中国の排外主義をあおりながら、「日米同盟の抑止力・対処力を一層強化」「同志国との連携強化」と主張し、改憲・大軍拡、辺野古新吉推進の方針を明確にし、岸田に続き中国侵略戦争に突き進んでいる。さらに、「日米安保同盟を基軸に」と主張する野田を代表に据える立憲民主党をはじめとして、すべての勢力が戦争に突進している。このように中国侵略戦争に総翼賛で突き進む総選挙に何の展望もない。

10月23日～11月1日で行われる日米共同統合実働演習「キーン・ソード25」では「中国」を敵国として名指しして、自衛隊約3万3千人、米軍約1万2千人を動員する。沖縄・九州を中心に日本全土の空港・港湾・公道も使用する。4月の日米首脳会談と7月の2プラス2で確認した自衛隊と米軍の連携強化を確認し、日本の自衛隊が前面に立って米軍とともに沖縄・南西諸島から中国へ攻撃するための実働演習である。

このような総選挙、軍事演習を学生・労働者は許してはならない。11.3日比谷6000人結集で首都・東京に反戦の内乱的な大デモを登場させ中国侵略戦争を阻止しよう。

・10.7一周年でパレスチナ連帯闘争爆発

去年の10.7パレスチナ蜂起から1年間、全世界でパレスチナに連帯し、ガザ大虐殺をおこなうイスラエルと米欧日帝国主義を打倒して虐殺を止める実力の闘いが行われた。今年の10月7日、この地平から、全国でパレスチナ連帯、戦争反対の集会・デモが闘われた。

首都圏では、イスラエル大使館に対する実力の抗議行動が闘われた。300人がイスラエル大使館前に結集し、阻止戦を張る警視庁機動隊に対して全学連白ヘル部隊が矢嶋委員長の合図とともに機動隊と衝突し突破をはかった。公安警察が慌てて鉄柵の後ろに回り込む中、

矢嶋委員長は「警察は不当な規制をやめろ！パレスチナ人民虐殺に加担するな！イスラエルはガザ虐殺を直ちにやめろ！」と畳みかけた。機動隊が後退し、鉄柵をはさんで攻防が続く中、齋藤書記長が「ガザで4万人を虐殺し、レバノン空爆で中東全体に戦火を広げるイスラエルの大使館が平然と業務を続けることをどうして許せるか！世界の労働者とともに立ち上がる私たちを警察機動隊が弾圧する—ここにイスラエルの虐殺に加担する日本政府の姿がはっきりと示されているではありませんか」と弾劾。学生、労働者も次々と発言に立ち、パレスチ



ナ人民との連帯し、一步も引かずに闘った。この日の闘いは中東をはじめ全世界に発信された。

関西では、京都大学で昼休みに「10.7 蜂起 1 周年パレスチナ連帯集会」がおこなわれた。不当にも京大当局によって停学処分となり、構内出禁を宣告されている学生とともにパレスチナに連帯し、虐殺に加担する京大・日帝・米帝を打倒しようということが訴えられた。停学者を追い出そうとする大学職員に対してひるむことなく、停学者を防衛して発言を勝ち取り、弾圧を跳ね返して反戦を闘う集会となった。集会後には京大の湊総長に対して 5 学生処分反対署名とイスラエル支援反対署名を提出しに行ったが、湊総長がいる本部棟は扉がすべて締め切られ、反戦の声を圧殺する有様だったが、その場で京大当局を弾劾し、「FREE PALESTINE!」の声をたたきつけ

・暴処法弾圧の不当拘留・密室裁判許すな！

昨年の 8 月 6 日、原爆ドーム前の反戦集会に参加した 5 人の仲間が逮捕された。集会を妨害してくる右翼とデモ隊が衝突したことで広島市職員がしりもちをついたということが集会参加者が治安弾圧のための暴力行為等処罰法に違反しているというのだ。集会を妨害してきた右翼は一人も逮捕されないのに反戦を訴えるデモ隊の 5 名を逮捕するという反戦運動弾圧だ。しかし、この不当弾圧はただ逮捕されただけにとどまらない。逮捕から 7 か月半たつが 5 名はいまだに拘留され続け、家族と



の面会すらも禁止されている。この不当な拘留は反戦運動をつぶすためのものだ。さらに、10 月 8 日、この裁判の公判前整理手続きがおこなわれたが、ここでは警察権力によって封鎖された密室の中で、警察官によるでっち上げの証人尋問が強行された。まさに戦時裁判そのものだ。絶対に許せない。

この公判前整理手続きに対して全国から 70 人の仲間が広島裁判所前結集し、暴処法弾圧粉碎広島地裁弾劾闘争を闘い抜いた。正午から 5 人の早期奪還と後半開始を求める集会を開き、車に乗せられて裁判所に出廷してきた 5 人に対して「がんばれ！」などの声援が送られた。さらに、5 人の家族や職場の仲間から裁判所に対して怒りの抗議文が提出された。また、公判前整理手続きがおこなわれている 304 号法廷の前の廊下が封鎖され警察官が配置されており、法廷前に行くことが暴力的に阻まれたが、裁判所を弾劾するシュプレヒコールがたたきつけられた。一刻も早くこの 5 人を奪還しよう。

そもそも、すでに広島の反戦反核の闘いをつぶすという暴処法弾圧の目的は今年の 8.6 原爆ドーム前集会で粉碎されている。今年は広島市が集会規制を敷き、反戦集会に対して権力を導入して排除すると宣言する中、逮捕覚悟で闘う学生・労働者が原爆ドーム前に結集し、スクラムを組んで機動隊と対峙し、集会貫徹を勝ち取っている。このような勝利を巨大な規模で首都・東京で実現したら支配階級との力関係は一変し、情勢は帝国主義打倒へ大きく動き出す。次は 11.3 労働者総決起集会 6000 人を勝ち取ろう。

11.3 全国労働者総決起集会へ！



11 月 3 日(日)
12 時～日比谷
野外音楽堂
↓集会特設 HP



闘争スケジュール

学生は戦争反対・自国政府打倒のデモに立とう！

・10.19 京都反戦デモ

10 月 19 日(土) 13 時 三条大橋西側河川敷

・10.21 国際反戦デー 京大反戦集会

10 月 21 日(月) 12 時 京大吉田キャンパス(詳細未定)

・10.21 国際反戦デー 梅田デモ

10 月 21 日(月) 18 時 30 分 豊崎西公園